

(件名)

令和2年度静岡県地域防災訓練の実施結果

(危機管理部 危機対策課)

1 要 旨

地域の特性に応じた防災体制の確立と県民の防災意識の高揚による減災を目的に、自主防災組織を主体とした地域防災訓練（今年度で38回目）を実施した。

今年度は、南海トラフ地震等の大規模地震の対応、風水害に対するマイ・タイムライン等を活用した適切な避難行動、避難先における新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所等運営の確認など、自分と家族の命は自ら守る「自助」、皆で助け合い支えあう「共助」を実践する訓練とすることで、地域防災力の一層の向上を図った。

2 訓練の期間及び想定

(1) 期 間

令和2年11月28日（土）～12月6日（日）「地域防災の日」までの9日間を中心に実施

(2) 訓練想定

各地域の特性に応じ、地震・津波・火山噴火災害のほか、風水害による被害等のリスクを踏まえた想定のもと訓練を実施

3 実施主体・協力機関等

実施主体	自主防災組織、地域の事業所等、消防団等
協力機関等	県、市町、県警、消防本部、自衛隊等

4 県職員の訓練参加

県の防災対策を推進するとともに、県職員の視点で地域の防災体制を再確認するため、地域住民の一員として、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で訓練に参加するよう呼びかけた。

9 ヘリコプター連携訓練

孤立集落対策等として、県警1機、消防1機、自衛隊1機の計3機により、県内5市町（東伊豆町、伊東市、裾野市、函南町、川根本町）の5地区で実施した。

10 訓練参加者数等

新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大に伴い、本年度の訓練では、5市町が訓練を中止し、また、自治体職員・自治会役員のみなど、参加者を限定して実施した市町も多く、参加者はこれまでの約2割と大幅に減少した。

区 分	令和2年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
	11月28日(土) ～12月6日(日)	12月1日(日)	12月2日(日)	12月3日(日)	12月4日(日)
市 町	30市町	35市町	35市町	34市町	35市町
参加団体数	2,264団体	4,871団体	5,273団体	4,844団体	5,165団体
参加人数	176,159人	753,510人	751,402人	748,882人	761,682人
自主防災組織	158,213人	707,365人	707,232人	709,499人	724,369人
うち中学生、高校生	10,786人	86,497人	90,870人	94,289人	90,503人
うち外国人	185人	2,128人	2,109人	2,085人	1,801人
その他の団体	17,946人	46,145人	44,170人	39,383人	37,313人

※本数値は、参加者数（確定値）である。なお、H29年度は松崎町が町長選挙のため訓練参加せず。

（参考）県民参加率

区 分	R 2	R 1	H 3 0	H 2 9	H 2 8
参加者数 (A)	176,159人	753,510人	751,402人	748,882人	761,682人
県人口 (B)	3,615,571人	3,637,998人	3,655,587人	3,672,471人	3,685,822人
参加率(A/B)	4.9%	20.7%	20.6%	20.4%	20.7%

※ 県人口は各年度12月1日現在の推計人口

11 成果等

- 昨今の新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、各市町とも参加者の体調確認、少人数のグループ分け、また、屋外や換気に配慮した会場設定等、3密を避けて感染防止対策を講じた上で訓練を実施した。
- 静岡県防災アプリに追加された「避難所運営支援機能」を活用した避難所での非接触の受付・情報共有方法等について自主防災隊員等による確認を行った。
- 風水害を想定し、マイ・タイムラインを活用して、住民が自ら情報収集や避難行動の判断を行う訓練を実施することで、自助の推進を図った。
- 孤立する可能性高い地域の住民等によるヘリコプター誘導訓練を行い、ヘリコプター受援体制の確立に資することが出来た。

訓練実施状況



河津町：災害対策本部運営訓練



掛川市：災害対策本部運営訓練



湖西市：避難所運営訓練



浜松市：マンホールトイレ組立



裾野市：ヘリコプター連携訓練



川根本町：ヘリコプター連携訓練